

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の指示が出ていないか、確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技大会出場について」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入場前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入場できない。出発前に入場者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- (4) 「健康チェック表」を入場者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入場できない。
宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
※提出した「健康チェック表」は返却しません。公式練習日を含め毎日入場時に提出していただきますので必要枚数を予め準備してください。体調管理アプリ「GLOBAL SAFETY」を登録されている方も必ず提出が必要になります。
- (5) 監督者会議にて「ADカード」を渡すので常時首から下げて着用すること。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入場を認めない。会場では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。
招集所内で、マスクをはずしている間は会話を控えること。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) 招集所へ持ち込む荷物、衣類を管理するため、透明のビニール袋(45L程度)を各自準備し、招集所へ持参すること
- (9) 大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、飛沫感染に留意すること。
- (10) 入場から退場時までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。
- (11) レース終了後、速やかにマスクを着用してから移動すること。
- (12) 唾や痰を会場内で吐かないこと。
- (13) 食事は、大会当日出場選手は選手控え場所で取ってもよいが、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (14) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (15) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングマシン等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類
- (16) 入場時に検温、健康表の確認を行う。監督者会議にて「ADカード」を配布し、大会期間中は、入場時に掲示が必須となるので、常時、首からさげられるようADケース等を準備しておくこと。

日本スポーツマスターズ2022岩手大会

水泳競技 監督者会議資料

■競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟 競泳競技規則に準じて行います。
- (2) 競技は9レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 競技順序は第9部から8. 7. 6. 5. . . . 第1部の順で行います。
- (4) 競技成立後、競技役員の指示により、速やかに横退水してください。
- (5) リレーの引継ぎ判定は、PT-8000により判定します。
- (6) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチしてください。
- (7) 競技に参加する選手は必ず招集員の点呼を受けてください。
招集は当該競技開始10分前より行い、5分前に終了しますので、それまでに必ず招集員の点呼を受けてください。点呼を受けずに招集所を離れた場合、棄権と見なされ出場できないことがあります。また、招集所で水着の確認を行います。
- (8) 棄権する場合は棄権届を記入し、当該競技の開始1時間前までに必ずリゾリユーションデスク（1階ロビー）に届け出てください。
- (9) リレーオーダー用紙の提出は、競技開始2時間前までにリゾリユーションデスクに届け出てください。なお、リレーオーダー用紙の提出は1回のみとしますので予めご承知おきください。
※大会1日目のリレーオーダー用紙は9月2日の監督者会議後に受け付けます。また、2日目のリレーオーダー用紙は9月3日の競技終了後から（17時まで）にリゾリユーションデスクで受付いたします。オーダーに変更がある場合、当該競技1時間前までにリゾリユーションデスクへ変更届を提出してください。
- (10) 競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程を遵守してください。
- (11) 招集は、1日目・2日目とも1階ロビー更衣室入口付近の第1招集所で行います。
- (12) 障がいをお持ちの方は、日本水泳連盟HP日本スポーツマスターズのページで「日本スポーツマスターズ2022における救済（特別）措置について」にて障がい者への特別措置を掲載しています。事前にHP上の事前申告書にて監督者会議までに申請を行ってください。
- (13) すべての届け出用紙は、リゾリユーションデスクにあります。

■申告および異議申し立てについて

<申告>

以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の1時間前までにリゾリユーションデスクへ申告ください。

- (1) テープ等をされる方
提出書類：出場申告用紙 <審判長の確認が必要です>
※競技規則上、テープ等は認められません。
※やむを得ず使用の承認が必要な場合は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリユーションデスクへお越しく下さい（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません）。
- (2) 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
提出書類：出場申告用紙 <審判長の確認が必要です>
※申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
※申し込み時に申告した方で当日再確認の連絡を受けている方もリゾリユーションデスクへ

お越しく下さい。

(3) 出場に介助が必要な方

提出書類：出場申告用紙

※チームにて介助者の対応をしてください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

<異議申し立て>

異議申し立ては、チームの責任者が行ってください。選手本人からの申し立ては受け付けられません。競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のある時はそのランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料 10,000 円を添えてリゾリレーションデスクにご提出ください。抗議書の内容を大会総務で裁定します。また、抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。なお、チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用できかねます。その他、違反内容の問合せについては選手本人からでも可能ですのでリゾリレーションデスクにお申し出ください。

■競技得点等について

- (1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者にメダルを授与します。
また、第1位から第8位までの者に、賞状を授与します。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは、上位2名までとします。
- (2) 合計得点により男女総合成績上位の都道府県を表彰します。
 1. 個人種目、リレー種目ともに
1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とします。
 2. 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とします。
 3. 合計得点が同得点の場合は、次のとおりとします。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方（リレー種目は4と計算する）
 - ・1位の数の多い方
 - ・以下8位までこれにならう
- (3) リレー種目について
 1. リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は74歳までとします。
 2. リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できません。
 3. リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とします。

■水着について（詳しくは大会プログラムを参照）

1. FINA のシールの貼ってある公認水着を使用します。違反者の記録は得点・順位に反映せずに参考記録(オープン扱い)とします。なお、マスターズ所属のネーム入り水着・スイムキャップは厳重注意とします。
2. 水着でFINAのシールが剥がれている物はメーカー名と品番を確認できる書面を招集へ提出してください。
3. 着用できる水着は1枚のみとし、重ね着は認めません。キャップを重ねることは認めません。
4. 水着あるいは身体へのテーピングは禁止します。
5. 水着への二次加工は禁止します。

■マークについて（詳しくは大会プログラムを参照）

- (1) 水着およびウェア、持ち物には、それぞれ利用の異なる毎に、次の名称・マークを付けることができます。
 1. 自分の氏名や所属チーム（県名）の名称・マーク
 2. オリンピックや世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク
 3. 国旗・国または地域の名称（自国でなくても良い）都道府県や市町村の名称・マーク
 4. 公式競技会及び公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの
 5. 水着には、30c㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークをウエストより上部に1個、下部に1個付けることができる。但し、これらのメーカーのロゴマークは、相互に隣接して置いてはなりません。ツーピースの水着には、上部に1個、下部に1個付けることができます。前記「1～4」までの所属チーム等の名称・マークの大きさに制限はありませんが、競泳競技の水着に付ける所属チーム等の名称・マークは50c㎡以内で1個とします。
 6. ウェアには、40c㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークを1個付けることができます。
 7. その他持ち物には、20c㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーロゴマークを1個付けることができます。
 8. 皆さんがこの規則に違反していると思われるときは、大会総務や競技役員が注意をします。その際は直ちに、以下の方法をとってください。
 - ・その違反对象物を使わないようにする。
 - ・テープなどを使い（水着は除く）見えないようにする。
 9. 注意されても従わない場合は、失格・当該競技会への出場を取消・競技者登録を抹消されるなどの処分を受けることとなります。なお、本件に関して疑問や不服がある場合は大会総務に書類で申し出てください。

■開始式、閉会式および表彰について

- (1) 開始式・閉会式に参加される場合は、都道府県ごとにスタンドに着席してください。
- (2) 都道府県の男女総合得点により1位～8位の団体を（公財）日本水泳連盟が表彰いたします。表彰は全競技終了後に行います。1位から8位の団体代表者（1名）は表彰者控所に集合してください。男子および女子別の得点順位は発表のみとなります。
- (3) 開始式・閉会式時間
開始式は、第1日目9時から行います。
連続出場者表彰は9時20分から行います。
閉会式は、第2日目13時20分から行います。
閉会式に参加しない都道府県は事前にリゾリレーションデスクまで申し出をお願いいたします。
- (4) 各種目の年齢区分ごとに第1位～第3位までの者にメダルをレース終了後にプールサイドにて授与します。
- (5) 各種目の年齢区分ごとに第1位から第8位までの者に賞状を授与します。賞状は、賞状引渡所で各競技終了後30分以降にお受け取りください。（都道府県別にまとめてあります）
- (6) 世界新記録の申請、日本新記録・世界新記録該当者の着用水着については、大会プログラムで確認してください。

■施設使用上の注意

- (1) ADカードを持っている選手・関係者以外は入場できません。
- (2) 選手控え場所は都道府県ごとにてエリアを指定されていますが、譲り合って使用してください。また、動線を守ってください。

- (3) プールを使用した際は、更衣室に入る前に水気を拭き取り、速やかにマスクを着用して、通路に出てください。
- (4) 入場前に手指の消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入場してください。入場時の検温で平熱を超える発熱あった場合は、別の場所で再度検温します。その結果、再度発熱の確認がとれた場合は入場できません。入場後の退場は認めますが、その後、再入場する際も、手指の消毒、検温を受けてください。
- (5) 「健康チェック表」の提出について
 1. 日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入してください。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入場時に提出していただきますので必要枚数を予め準備してください。
 2. 公式練習日、大会期間中とも、外出後および決勝競技時の再入場の際は、入場口での検温を行います。上記の用紙の提出は必要ありません。
 3. 「健康チェック表」の体温・体調については、入場 14 日前より記載してください。
 4. 回収した「健康チェック表」は返却しませんので、記載内容を写真等で保管してください。
- (6) 場内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用してください。また入退場に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従ってください。
- (7) 「競技会場における商業ロゴマーク等に関する取り扱い規定」を厳守してください。
- (8) 入場から退場時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2 m以上）をとって行動してください。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保ってください。テープのある着席禁止場所には座らないでください。
- (9) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないでください。従って、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋（透明のビニール袋 45L 程度）のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参してください。
- (10) 泳ぐ時以外は原則として常にマスクを着用してください（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れてください。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かないこと）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとってマスクを外すことができます。
- (11) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできません。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えてください。
- (12) 更衣室ロッカーに荷物は置くことができません。また、更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできません。置き荷物は、忘れ物として扱います。また、競技会終了後、忘れ物は、岩手県水泳連盟事務局（019-681-7155）にて保管、9月6日（火）正午をもって廃棄いたします。
- (13) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
- (14) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないでください。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認めず。
- (15) 飲食については、指定場所以外で行わないでください。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事時の会話は控えてください。ドリンクの回し飲みはせず、飲みきれなかったドリンクを捨てないでください。

■その他

- (1) ゴミはすべてお持ち帰りください。
- (2) 館内は土足禁止になっております。アリーナ内とその他の場所の履物を使い分けてください。
- (3) 貴重品の管理については、各チーム・選手の責任において行ってください。
- (4) 施設内は禁煙です。喫煙は屋外の所定場所で行ってください。

- (5) 公式スタート練習で代理人による順番待ちは禁止します。
- (6) 台数に限りがありますので原則公共交通機関を利用してください。自家用車で来場された方は、係員の指示に従い指定の場所に駐車してください。
- (7) 連続出場者表彰について
1日目（9月3日）開会式直後、9：20より連続出場者表彰を行います。
受賞者は第2招集所（プールサイド本部席側）へ8：50までに集合してください。
表彰後、プールサイドで記念写真を撮影しますので、係員の指示に従ってください。
- (8) 斡旋弁当について
弁当引換所は、選手受付奥のエントランスホールです。時間厳守で受取・容器返却をお願いします。
斡旋弁当配布時間 11：00～13：00
弁当容器回収終了 3日 15：00 4日 14：00 ※弁当引換所に返却してください
- (11) 監督および責任者は大会当日の選手の緊急時の連絡先（本人以外の電話番号と氏名）を確認しておいてください。
- (12) 大会期間中の怪我などの対応はプログラムをよく読んでください。
- (13) アンケートへのご協力をお願いします。配布物に含まれる大会アンケート用紙に記載して、選手受付の回収箱に入れてください。
- (14) 開閉会式をはじめ、競技についてライブ配信を行います。